



皇學館大学 ビブロフィリア 活動報告

皇學館大学ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」

公式ブログ <http://bibliophilia-ku.blogspot.jp/>

ツイッター @Bibliophilia_KU

1. ビブロフィリアって何？

- 平成24年7月に発足した皇學館大学のビブリオバトルサークルです。
- 主にビブリオバトルを中心とした交流会や、三重県県内でのビブリオバトル大会の運営サポートのボランティア活動などを行っています。

2. ビブリオバトルって何？

- 本の紹介を通じてコミュニケーションするゲーム感覚の書評合戦です。
- 「人を通して本を知る／本を通して人を知る」をコンセプトとして、小中高等学校、大学、図書館、書店、カフェなど、日本全国に活動の輪が広がっています。
- ビブリオバトルのルールはいたってシンプルで、老若男女を問わずに誰でも気軽に始めることができます。
- 最新情報については「ビブリオバトル公式ウェブサイト」をご確認ください。 (<http://www.bibliobattle.jp/>)



+++ ビブリオバトルの公式ルール +++

- ①発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ②順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- ④全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

3. ビブロフィリアの目的

- ビブロフィリアの活動の理念として、以下の二つを掲げています。
 - ①活動を通して知性を培う
 - ②文化的活動の場を提供
- 本を通じた交流活動によって大学生としての能力を研鑽し、各人の知性を培うことで、本学における文化的活動の場としての役割を担うことを目的としています。

4. メンバー構成

- 現在のメンバー構成は、以下のとおりとなっています。

3年生（4人） 2年生（5人） 1年生（1人） ※4年生は既に活動から引退済み

5. 現在の主な取り組み内容

- 普段のサークル活動での交流。
- 倉陵祭での「学生ビブリオバトル」「教職員ビブリオバトル」など、学内でのビブリオバトル大会の開催。
- 「ビブリオバトル首都決戦」「全国大学ビブリオバトル」「ビブリオバトル東海決戦」など、学外のビブリオバトル大会への参加、及び三重県内での地区予選会の開催。
- ビブリオバトルの開催相談（デモンストレーションや運営協力の依頼など）。

図1：「高校生ビブリオバトル2014」の運営サポートの様子
(左：松阪地区大会 / 右：中勢地区大会)



図2：学外でのデモンストレーションの様子
(左：ホンツツキ / 右：三重県総合博物館)



図3：ビブリオバトル大会の運営サポートの様子
(左：商店街ビブリオバトル / 右：まつさかビブリオバトル)



6. 地域との連携

- 三重県内の各地に出張して、ビブリオバトルのデモンストレーションを行いました。
- 三重県内で開催されるビブリオバトル大会の司会進行や運営協力を行いました。
- 三重県内の高等学校へ訪問して、ビブリオバトルの実演と相談会を行いました。

+++ これまでの活動実績 +++

【平成24年度】

- ①「ビブリオバトル首都決戦2012」三重ブロック予選会及び地区決戦開催（平成24年9月29日）

【平成25年度】

- ①「図書館総合展フォーラム2013 in 伊勢」でのポスター発表（平成25年5月27日）
- ②「ビブリオバトル東海決戦2013」三重ブロック予選会及び地区決戦開催（平成25年6月23日）
- ③平成25年度三重県司書・司書教諭研修「ビブリオバトルの楽しみ方：本と人との出会いの場づくり」（平成25年8月23日）
※研修会でのデモンストレーション及び演習でのサポートとして参加。
- ④「ビブリオバトル首都決戦2013」三重ブロック予選会及び地区決戦開催（平成25年11月2日）
- ⑤みえの学力向上県民運動「高校生ビブリオバトル倉田山決戦2013」（平成25年11月16日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は皇學館大学。
- ⑥伊勢市新道商店街「ビブリオバトル@伊勢銀座新道商店街」（平成25年11月17日）
※運営協力として参加。伊勢市新道商店街と共催。

【平成26年度】

- ①本と人に出会う津の六月祭「ホンツツキ」（平成26年6月15日）
※デモンストレーションを披露。kalasbooksとの共催。会場は津市四天王会館。
- ②みえの学力向上県民運動「松阪地区高校生ビブリオバトル：赤壁の戦い」（平成26年7月31日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は三重県立松阪工業高校。
- ③三重県総合博物館「ビブリオバトル in MieMu」（平成26年10月5日）
※デモンストレーションを披露。三重県総合博物館と共催。
- ④みえの学力向上県民運動「南勢志摩地域高校生ビブリオバトル：倉田山決戦2014」（平成26年11月16日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は皇學館大学。
- ⑤みえの学力向上県民運動「東紀州地域高校生の書評合戦！：高校生ビブリオバトル：熊野古道決戦」（平成26年11月23日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は三重県熊野庁舎。
- ⑥「全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～」三重ブロック予選会及び地区決戦開催（平成26年11月30日）
- ⑦松阪市「第1回まつさかビブリオバトル」（平成26年12月7日）
※運営協力として参加。松阪市教育委員会と共催。会場は松阪市嬉野図書館。
- ⑧みえの学力向上県民運動「伊賀地域高校生ビブリオバトル2014：師走の名張決戦」（平成26年12月13日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は三重県立名張高等学校。
- ⑨みえの学力向上県民運動「中勢地域高校生の書評合戦！：高校生ビブリオバトル県都決戦2014」（平成26年12月21日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は三重県立図書館。
- ⑩みえの学力向上県民運動「北勢地域高校生の書評合戦！：北勢地域高校生ビブリオバトル四日市決戦」（平成27年1月10日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は三重県四日市庁舎。
- ⑪みえの学力向上県民運動「高校生ビブリオバトル三重決戦2014」（平成27年2月8日）
※運営協力として参加。三重県教育委員会と共催。会場は皇學館大学。
- ⑫平成26年度内に、三重県内の高等学校からの派遣依頼要請を受け、ビブリオバトルの説明と相談会を行った。
※三重県立志摩高校、三重県立名張西高校、三重県立名張桔梗丘高校、三重県立紀南高校に訪問。

7. これまでの取り組みの成果・課題

- ビブロフィリアを結成した当時は、全国的に見てもビブリオバトルがそれほど世の中に浸透しておらず、三重県内でもほとんど知名度がありませんでした。そんななか、ビブロフィリアは三重県内でもっとも早くビブリオバトルに取り組み、学内的な活動を始めとして、地域と連携してその普及活動に努めてきました。
- 平成25年度には、ビブリオバトルの開発者である谷口忠大氏による『ビブリオバトル：本を知り人を知る書評ゲーム』（文藝春秋・平成25年4月）や、ビブリオバトル普及委員会編纂による『ビブリオバトル入門』（情報科学技術協会・平成25年6月）が相次いで出版されたり、同年5月に文部科学省が「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」のなかでビブリオバトルに言及したことで、それ以前に比べて大きく知名度も上がりました。
- 『ビブリオバトル入門』には、大学における開催事例としてビブロフィリアの取り組みが収録されており、三重県内での普及活動の先進事例として紹介されました。
- 最近の活動では、「ビブリオバトルを開催したい」という地域・団体からの支援依頼に応えることが増えてきましたが、卒業によってメンバー構成の入れ替えが生じる際に、司会や運営技術のノウハウを適切に継承していく必要性を感じています。

8. 今後の方向性

- 自分たちがビブリオバトルを楽しむことは当然のことながら、本を通じた文化的活動の場を三重県内につくるために、引き続きその普及活動を続けていきたいと思えます。
- 現在は全国規模でビブリオバトルの愛好者が増えていますので、他の都道府県の大学生との交流活動を視野に入れたり、三重県内の小中高校生や社会人たちと一緒に、世代を超えたコミュニティづくりにも力を入れてみたいと思えます。

図4：これまでに制作したポスターやチラシなど
(左・中：ビブリオバトル開催告知のチラシ / 右：図書館総合展でのポスター発表)

